

「こまきプレミアム商品券」等に関する市民アンケートの結果について

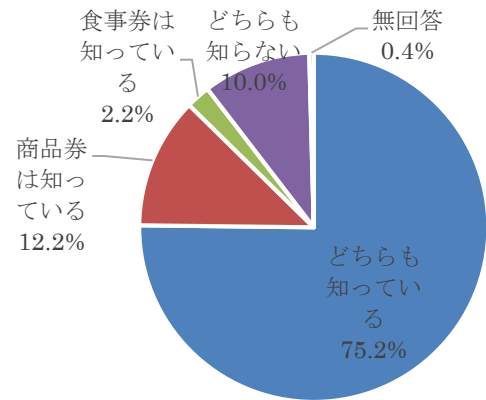
1. 実施概要

- (1) 実施目的 : 今後の商品券事業の参考にするため
- (2) 対象者 : 令和3年1月1日現在、小牧市内に1年以上居住する16歳以上3,000人（無作為抽出）
- (3) 実施期間 : 令和3年6月11日（金）から令和3年6月30日（水）
（令和3年7月28日（水）到着分まで反映）
- (4) 回答数 : 回収数1210 有効票数1209 有効回答率40.3%
紙回答：876（72.4%） ネット回答：334（27.6%）

2. 実施結果

問1 あなたは、令和2年度に販売した商品券及び食事券（両方とも完売）をご存知ですか？

1.どちらも知っている	909	75.2%
2.商品券は知っている	147	12.2%
3.食事券は知っている	27	2.2%
4.どちらも知らない	121	10.0%
無回答	5	0.4%
合計	1,209	100.0%



（商品券を知っている／回答数）

年代別

29歳以下	54/71	76.1%
30歳代	95/118	80.5%
40歳代	199/217	91.7%
50歳代	186/220	84.5%
60歳代	221/250	88.4%
70歳代	220/239	92.1%
80歳以上	56/62	90.3%
無回答	25/32	78.1%
全体	1,056/1,209	87.3%

地区別

小牧	417/483	86.3%
味岡	238/262	90.8%
篠岡	268/309	86.7%
北里	92/107	86.0%
無回答	41/48	85.4%
全体	1,056/1,209	87.3%

地区分け（小学校区）

小牧地区	小牧、村中、三ツ瀧、小牧南、米野、小牧原
味岡地区	味岡、一色、本庄
篠岡地区	篠岡、桃ヶ丘、陶、光ヶ丘、大城
北里地区	北里、小木

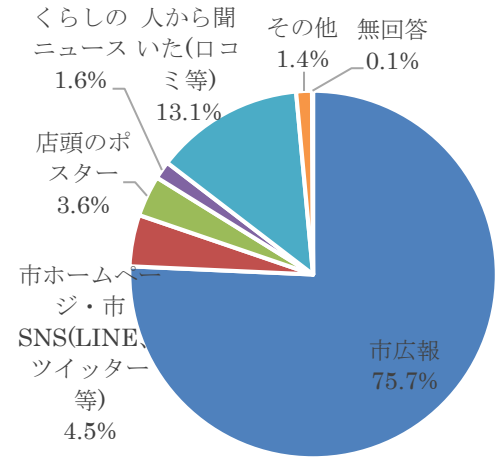
■87.4%（H24：79.0%、H25：80.9%、H26：88.4%、H27：91.5%、H28：90.1%、H29：91.5%、H30：92.5%、H31：86.0%）の方が「知っている」と回答しています。商品券の認知度が、昨年度と比較して1.4%増加しています。

■年代別では29歳以下の方の認知度が、76.1%（H24：55.2%、H25：55.8%、H26：70.4%、H27：69.0%、H28：70.7%、H29：67.2%、H30：80.0%、H31：68.4%）と他の年代と比較すると認知度が低くなっており、地区別では、4地区とも認知度が8割強ありますが、引続き、年代、地域などの特性にあったPR方法を行っていく必要があります。

問2 問1で「1～3」を選択した方にお聞きします。

あなたは、商品券及び食事券についてどこで情報を知りましたか？

1.市広報	820	75.7%
2.市ホームページ・市SNS (LINE、ツイッター等)	49	4.5%
3.店頭のパスター	39	3.6%
4.くらしのニュース	17	1.6%
5.人から聞いた(口コミ等)	142	13.1%
6.その他	15	1.4%
無回答	1	0.1%
合計	1,083	100.0%



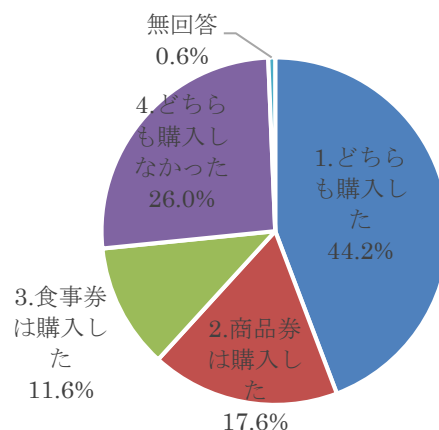
その他（抜粋）

- ・母親が購入しているので
- ・家族

■今年度新たに追加した設問で、商品券及び食事券についてどこで情報を知ったかをお聞きしたところ、「市広報」と回答した方が75.7%と大半を占めております。市広報に馴染みがなく、商品券を知らない人に対して、どのような媒体を通して商品券を周知することが効果的なのかを今後検討する必要があります。

**問3 問1で「1～3」を選択した方にお聞きします。
あなたは、商品券及び食事券を購入されましたか？**

1.どちらも購入した	479	44.2%
2.商品券は購入した	190	17.6%
3.食事券は購入した	126	11.6%
4.どちらも購入しなかった	281	26.0%
無回答	7	0.6%
合計	1,083	100.0%



(商品券を購入した/商品券を知っている)

年代別

29歳以下	29/54	53.7%
30歳代	49/95	51.6%
40歳代	136/199	68.3%
50歳代	114/186	61.3%
60歳代	145/221	65.6%
70歳代	157/220	71.4%
80歳以上	30/56	53.6%
回答なし	9/25	36.0%
全体	669/1,056	63.4%

地区別

小牧	258/417	61.9%
味噌	157/238	66.0%
篠岡	188/268	70.1%
北里	49/92	53.3%
回答なし	17/41	41.5%
全体	669/1,056	63.4%

地区分け(小学校区)

小牧地区	小牧、村中、三ツ淵、小牧南、米野、小牧原
味噌地区	味噌、一色、本庄
篠岡地区	篠岡、桃ヶ丘、陶、光ヶ丘、大城
北里地区	北里、小木

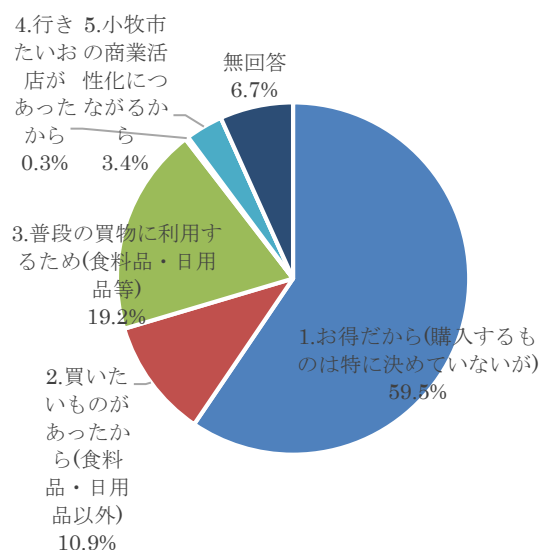
■商品券の購入状況について、「購入した」が63.4%（H24：21.6%、H25：19.8%、H26：21.1%、H27：29.1%（特別予約枠申込中7.8%分別にあり）、H28：27.7%、H29：38.3%、H30：32.9%、H31：48.8%）となっております。今年度は新型コロナウイルスの影響に伴う経済支援策として、発行額、プレミアム率を引上げて実施したことにより、購入率が増加したと考えられます。（注：各年度においてアンケートの対象者数は同じですが、商品券の発行額や流通額は、各年度により差異があります。）

■年代別では、年代によって5割から7割弱の方が商品券の購入をしており、昨年度と比較し全体の購入率は底上げしたが、年代間の差は広がっています。地区別では北里地区が他の地域と比較して商品券の購入割合が低くなっており、購入者の年齢層や地区に偏りがないようPR方法や販売体制の改善、加盟店の増加に努める必要があります。

問4 問3で「1～3」を選択した方にお聞きします。
あなたが、商品券及び食事券を購入した動機は何ですか？

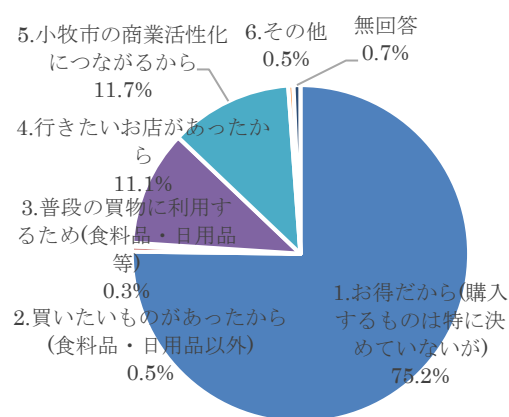
＜商品券＞

1.お得だから（購入するものは特に決めていないが）	398	59.5%
2.買いたいものがあったから（食料品・日用品以外）	73	10.9%
3.普段の買物に利用するため（食料品・日用品等）	128	19.2%
4.行きたいお店があったから	2	0.3%
5.小牧市の商業活性化につながるから	23	3.4%
6.その他	0	0.0%
無回答	45	6.7%
合計	669	100.0%



＜食事券＞

1.お得だから（購入するものは特に決めていないが）	455	75.2%
2.買いたいものがあったから（食料品・日用品以外）	3	0.5%
3.普段の買物に利用するため（食料品・日用品等）	2	0.3%
4.行きたいお店があったから	67	11.1%
5.小牧市の商業活性化につながるから	71	11.7%
6.その他	3	0.5%
無回答	4	0.7%
合計	605	100.0%



その他の意見（抜粋）

- ・購入したけど、当たらなかった

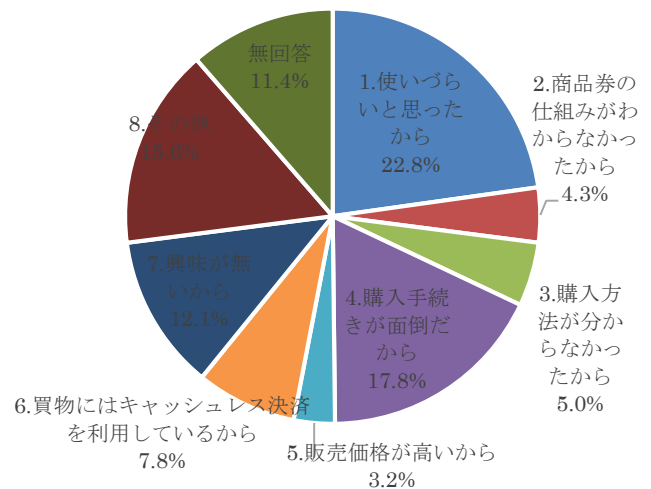
■商品券または食事券を購入したと回答した方のうち「お得だから（購入するものは特に決めていないが）」が59.5%（商品券）、75.2%（食事券）であり、商品券、食事券ともにプレミアム率が高かったことが購入に繋がったと考えられます。2番目に多い回答結果として、商品券では「普段の買物に利用するため」が19.2%、食事券では「小牧市の商業活性化につながるから」が11.7%となり、商品券は普段の買い物での利用を目的に購入している一方、食事券は新型コロナウイルスにより落ち込んだ市内飲食店への支援の意識が購入者のなかで高かったと考えられます。

問5 問3で「4 どちらも購入しなかった」と回答した方にお聞きします。

あなたが、商品券及び食事券を購入しなかった理由は何ですか？

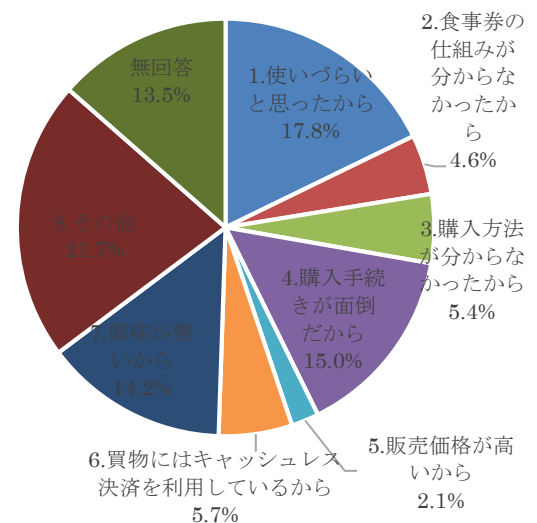
<商品券>

1.使いづらいと思ったから	64	22.8%
2.商品券の仕組みが分からなかったから	12	4.3%
3.購入方法が分からなかったから	14	5.0%
4.購入手続きが面倒だから	50	17.8%
5.販売価格が高いから	9	3.2%
6.買物にはキャッシュレス決済を利用しているから	22	7.8%
7.興味が無いから	34	12.1%
8.その他	44	15.6%
無回答	32	11.4%
合計	281	100.0%



<食事券>

1.使いづらいと思ったから	50	17.8%
2.食事券の仕組みが分からなかったから	13	4.6%
3.購入方法が分からなかったから	15	5.4%
4.購入手続きが面倒だから	42	15.0%
5.販売価格が高いから	6	2.1%
6.買物にはキャッシュレス決済を利用しているから	16	5.7%
7.興味が無いから	40	14.2%
8.その他	61	21.7%
無回答	38	13.5%
合計	281	100.0%



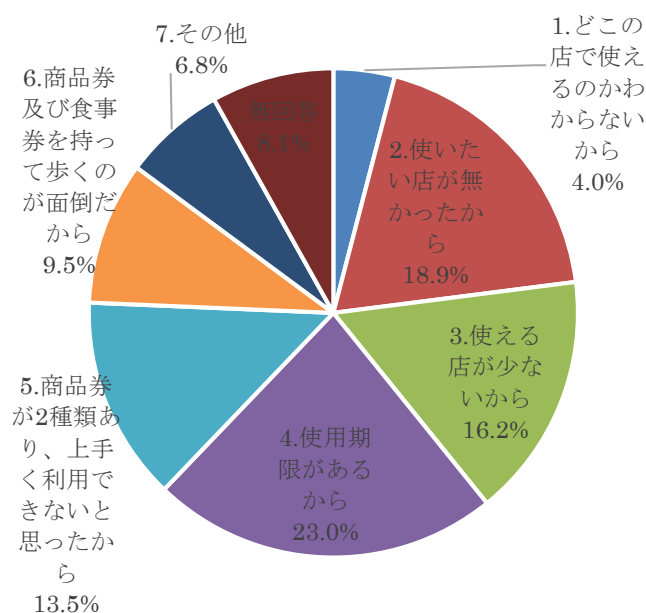
その他の意見（抜粋）

- ・コロナウイルスが怖くて外出しないため
- ・購入方法、手続き等を忘れ、できなかった
- ・お金を逆に普段より使ってしまうと思ったから
- ・購入履歴を把握されたくないから
- ・予約制だと思わなかった。前のようにスーパーで購入できると思った
- ・知った時には販売が終わっていたから
- ・親が購入したから
- ・一括での出金が大きいので
- ・小牧市内ではあまり買物、食事しない
- ・応募したけど、買えなかった
- ・外食は控えているので

■商品券事業を知っているが購入しなかった主な理由は、過去の調査傾向と同様に「使いづらいと思ったから」22.8%（H24：42.5%、H25：34.4%、H26：37.1%、H27：35.7%、H28：27.3%、H29：23.4%、H30：27.5%、H31：28.0%）となっております。また、2番目に多い回答結果として「購入手続きが面倒だから」が挙げられ、予約と引換えの手続きを行う必要があることが購入者にとって手間になっていることが要因の一つと考えられます。また、食事券の理由として最も多い回答は「その他」の21.7%で、応募多数による抽選で購入できなかったや緊急事態宣言等の発令に伴い外出を控えているなどの意見が多く挙げられました。

**問6 問5で「1 使いづらいと思ったから」と回答した方にお聞きします。
あなたが、使いづらいと思った理由は何ですか？**

1.どこの店で使えるのかわからないから	3	4.0%
2.使いたい店が無かったから	14	18.9%
3.使える店が少ないから	12	16.2%
4.使用期限があるから	17	23.0%
5.商品券が2種類あり、上手く利用できないと思ったから	10	13.5%
6.商品券及び食事券を持って歩くのが面倒だから	7	9.5%
7.その他	5	6.8%
無回答	6	8.1%
合計	74	100.0%



その他の意見（抜粋）

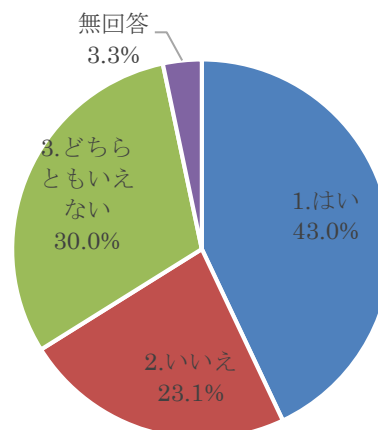
- ・1人で外出できないので、期限があるもの等使いづらい
- ・前に購入したが、使いづらい

■「使いづらいと思ったから」の主な理由は、「使用期限があるから」23.0%（H24：31.2%、H25：23.6%、H26：34.7%、H27：31.5%、H28：31.9%、H29：22.5%、H30：19.1%、H31：25.5%）が挙げられます。また「使いたい店が無かったから」18.9%、「使える店が少ないから」16.2%、「どこの店で使えるのかわからないから」4.0%と加盟店に関する合計が39.1%となっており、消費需要を捉えた利用期間の設定や幅広い業種の加盟店の参加を促す必要があります。

問7 問1で「4 どちらも知らない」と回答した方にお聞きします。

表紙の商品券及び食事券の概要をご覧になって、興味を持たれましたか？

1.はい	52	43.0%
2.いいえ	28	23.1%
3.どちらともいえない	37	30.6%
無回答	4	3.3%
合計	121	100.0%

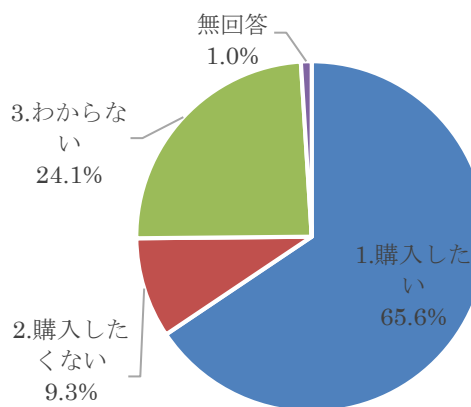


■商品券及び食事券を「知らない」と回答した方に対してアンケート表紙の概要を読んで興味を持たれたかをお聞きしたところ43.0%（H29：15.6%、H30：22.7%、H31 28.3%）の方が「はい」と回答されました。商品券等を知らない方への周知方法について検討し、より多くの方に興味を持っていただけるようPR活動の改善・強化や商品券の魅力向上を図る必要があります。

問8 全ての方にお聞きします。

令和3年度も「こまきプレミアム商品券（プレミアム率20%）」を発行する予定です。あなたは購入したいと思いますか？

1.購入したい	793	65.6%
2.購入したくない	112	9.3%
3.わからない	292	24.1%
無回答	12	1.0%
合計	1,209	100.0%

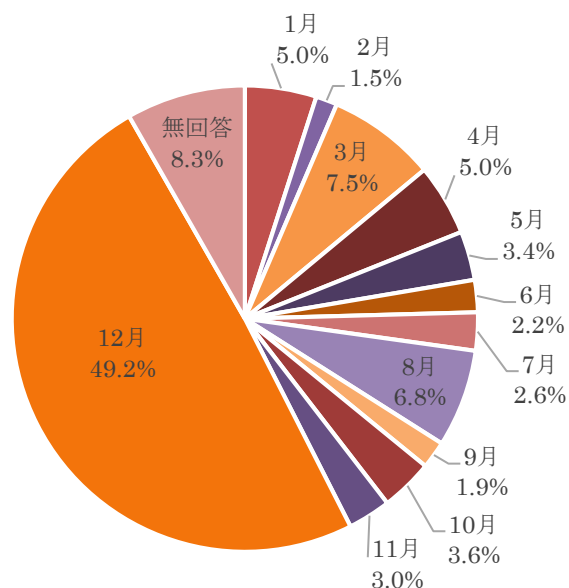


■令和3年度発行における商品券購入については、「購入したい」65.6%（H24：27.0%、H25：25.8%、H26：26.8%、H27：42.3%、H28：34.9%、H29：38.8%、H30：35.1%、H31：38.8%）、「購入したくない」9.3%（H24：25.0%、H25：28.5%、H26：27.3%、H27：18.1%、H28：23.0%、H29：26.0%、H30：29.5%、H31：20.6%）となっております。前年度と比較すると、「購入したい」と回答された方が26.8%増加し、「購入したくない」と回答された方が11.3%減少しています。「購入したい」と回答された方が大幅増え、今後も引き続き、商品券事業の魅力を高め、販売に繋げていく必要があります。

問9 全ての方にお聞きします。

あなたが商品券を購入した場合、最も利用したいと思うのは何月ですか？

1月	60	5.0%
2月	18	1.5%
3月	91	7.5%
4月	60	5.0%
5月	41	3.4%
6月	27	2.2%
7月	32	2.6%
8月	82	6.8%
9月	23	1.9%
10月	44	3.6%
11月	36	3.0%
12月	595	49.2%
無回答	100	8.3%
合計	1,209	100.0%

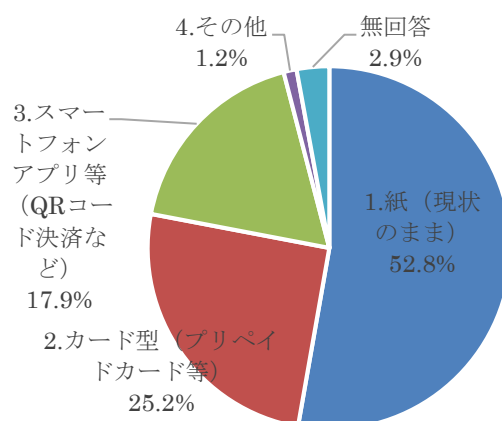


■商品券を利用したい時期についてお聞きしたところ、「12月」が49.2%（H31：44.4%）、「3月」が7.5%（H31：9.8%）「8月」が6.8%（H31：7.0%）と回答されました。年末や年度末などまとまってお金を使う時期に商品券を利用したいと考える方が多いことを踏まえ、商品券の販売時期や利用期間を検討していく必要があります。

問10 全ての方にお聞きします。

今後の商品券の形態についてどれが良いと思いますか？

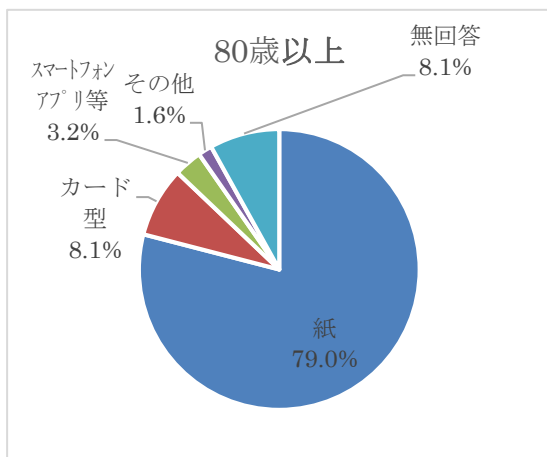
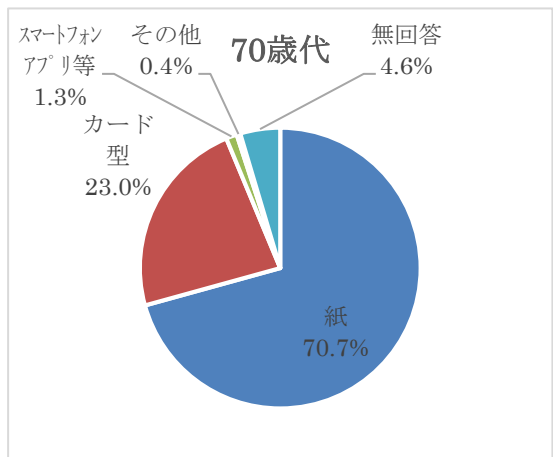
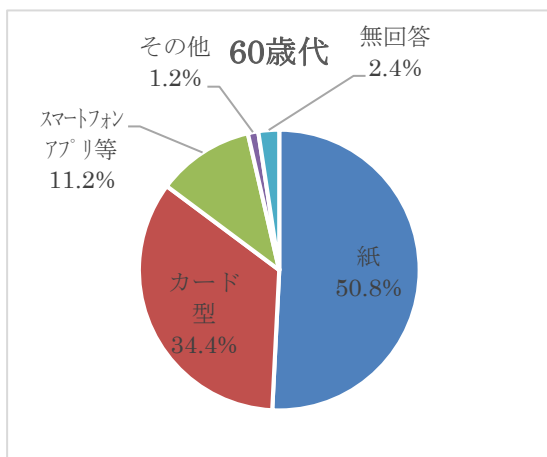
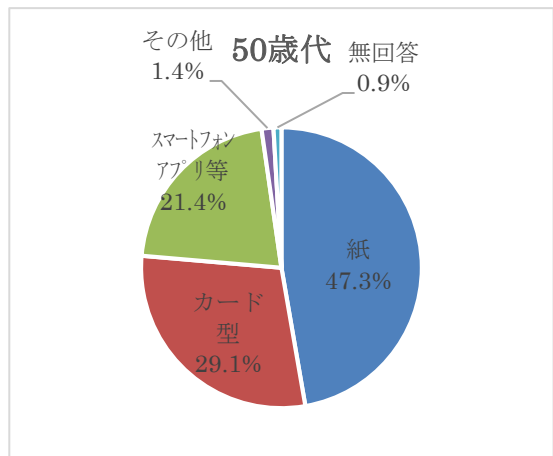
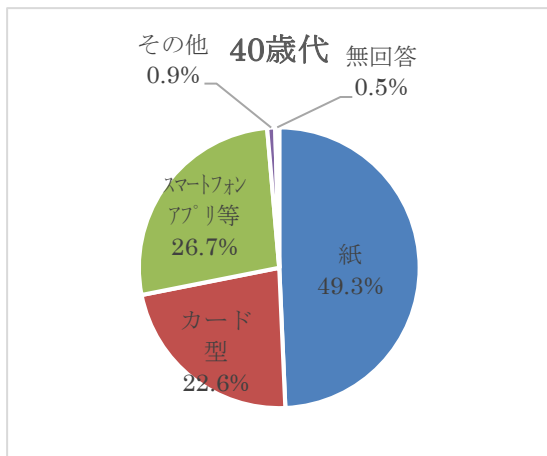
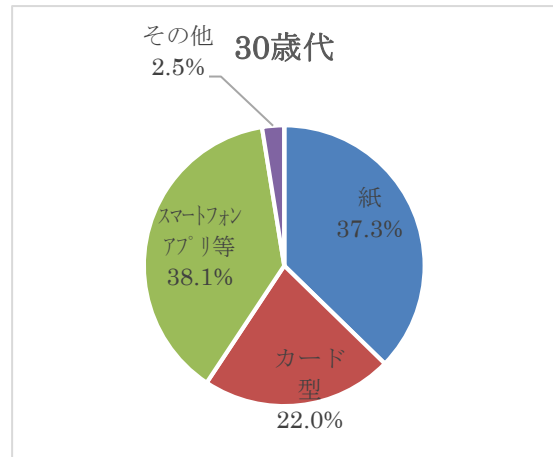
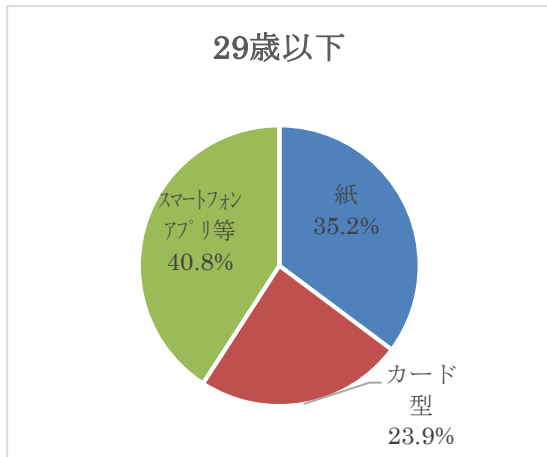
紙（現状のまま）	638	52.8%
カード型 （プリペイドカード等）	305	25.2%
スマートフォンアプリ等 （QRコード決済など）	217	17.9%
その他	14	1.2%
無回答	35	2.9%
合計	1,209	100.0%



その他の意見（抜粋）

- ・紙とアプリを選択できる
- ・分からない
- ・どれでもいい
- ・紙、カード型、スマートフォンアプリの選択型

<年代別>

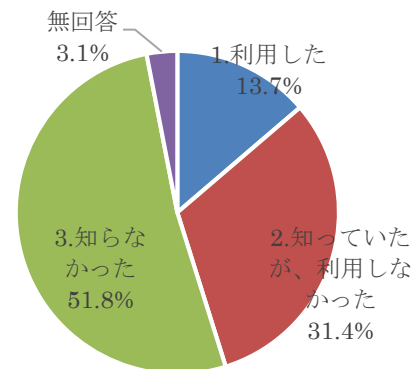


■商品券の形態について、52.8%（H31:43.8%）の方が「紙（現状のまま）」と回答しました。一方、「スマートフォンアプリ等」と回答した方が17.8%（H31:12.8%）と、昨年度と比較すると5.0%増加しています。新型コロナウイルスによる感染防止の観点から非接触決済の需要が高まり、市内においてもキャッシュレス化に対する意識が高まっていると考えられます。また、30歳代以下では「スマートフォンアプリ等」が「紙」の回答数を上回り、年代に応じた商品券の形態を今後検討していく必要があります。

問 11-1 全ての方にお聞きします。

あなたは令和2年10月に実施したキャッシュレス決済ポイント付与キャンペーンを利用しましたか？

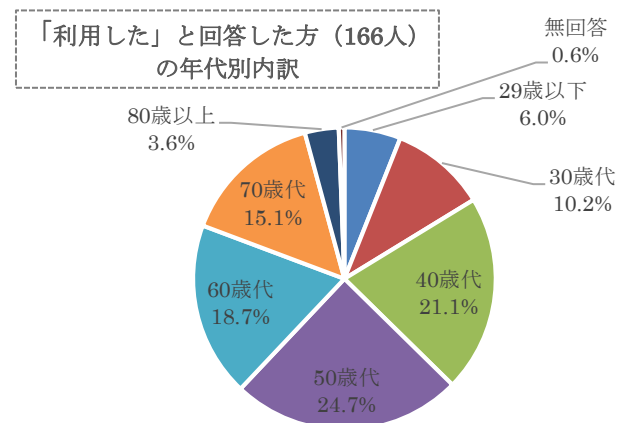
1.利用した	166	13.7%
2.知っていたが、利用しなかった	380	31.4%
3.知らなかった	626	51.8%
無回答	37	3.1%
合計	1,209	100.0%



(利用した/回答数)

年代別

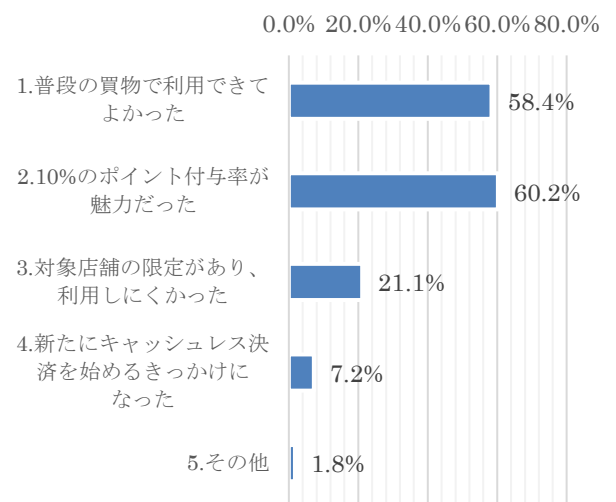
29歳以下	10/71	14.1%
30歳代	17/118	14.4%
40歳代	35/217	16.1%
50歳代	41/220	18.6%
60歳代	31/250	12.4%
70歳代	25/239	10.5%
80歳以上	6/62	9.7%
回答なし	1/32	3.1%
全体	166/1,209	13.7%



問 11-2 問 11-1 で「1 利用した」と回答した方にお聞きします。

今回のキャンペーンはいかがでしたか？(複数選択可)

1.普段の買物で利用できてよかった	97	58.4%
2.10%のポイント付与率が魅力だった	100	60.2%
3.対象店舗の限定があり、利用しにくかった	35	21.1%
4.新たにキャッシュレス決済を始めるきっかけになった	12	7.2%
5.その他	3	1.8%



その他の意見(抜粋)

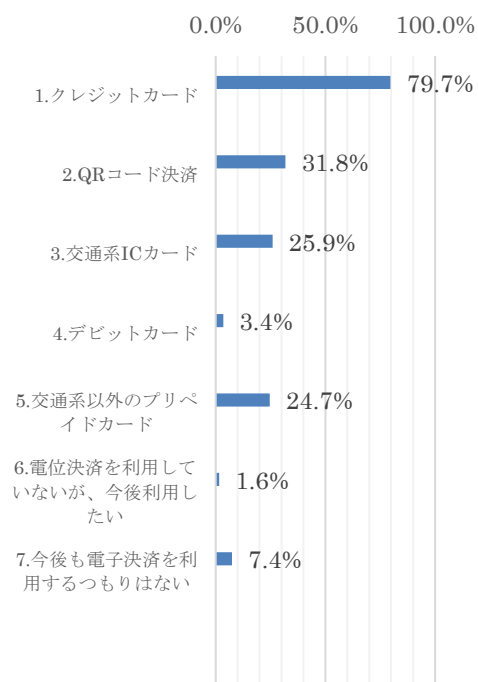
- ・前々から使っていたから
- ・使いにくかった

■キャッシュレス決済ポイント付与キャンペーンについて、51.8%が「知らなかった」と回答しております。過半数以上の方がキャンペーンを知らなかったと回答していることを踏まえ、多くの方に利用いただけるよう、幅広くキャンペーンの周知を図る必要があったと考えられます。また、「知っていたが、利用しなかった」が31.4%で、対象店舗を限定したことやキャッシュレス決済に馴染みがない方にとって利用しにくかったことが、キャンペーンの利用に繋がらなかった要因の一つにあると考えられます。

問 12 全ての方にお聞きします。

現金以外の支払い手段として、普段の買物でどのような電子決済を使っていますか？（複数選択可）

1.クレジットカード (VISA、JCB 等)	928	79.7%
2.QRコード決済 (PayPay、auPAY 等)	370	31.8%
3.交通系ICカード (Suica、manaca 等)	301	25.9%
4.デビットカード (銀聯カード等)	40	3.4%
5.交通系以外のプリペイドカード (WAON、nanaco、Edy 等)	287	24.7%
6.電子決済を利用していないが、 今後利用したい	19	1.6%
7.今後も電子決済を利用するつもり はない	86	7.4%

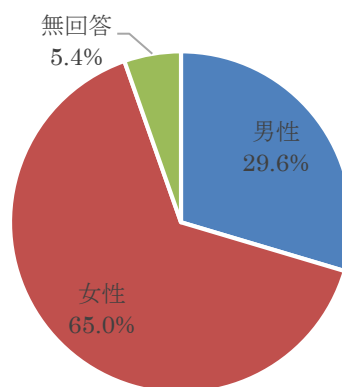


※無回答数を除く回答数 1,164 より割合を集計

■今年度新たに追加した設問で、現金以外の支払い手段として利用しているものとして「クレジットカード」が79.6%、「QRコード決済」が31.8%と利用率が高くなっており、一方、「電子決済を利用していないが、今後利用したい」が1.6%、「今後も電子決済を利用するつもりはない」が7.3%と、1割弱の方が現在電子決済を利用しておらず、電子決済に苦手意識や抵抗がある人と思われま。

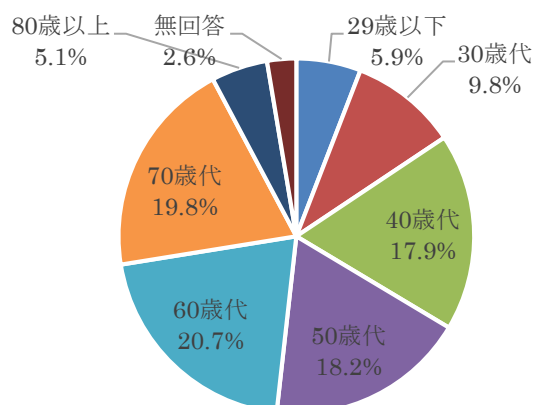
問 13 あなたの性別をお聞かせください。

男性	358	29.6%
女性	786	65.0%
無回答	65	5.4%
合計	1,209	100.0%



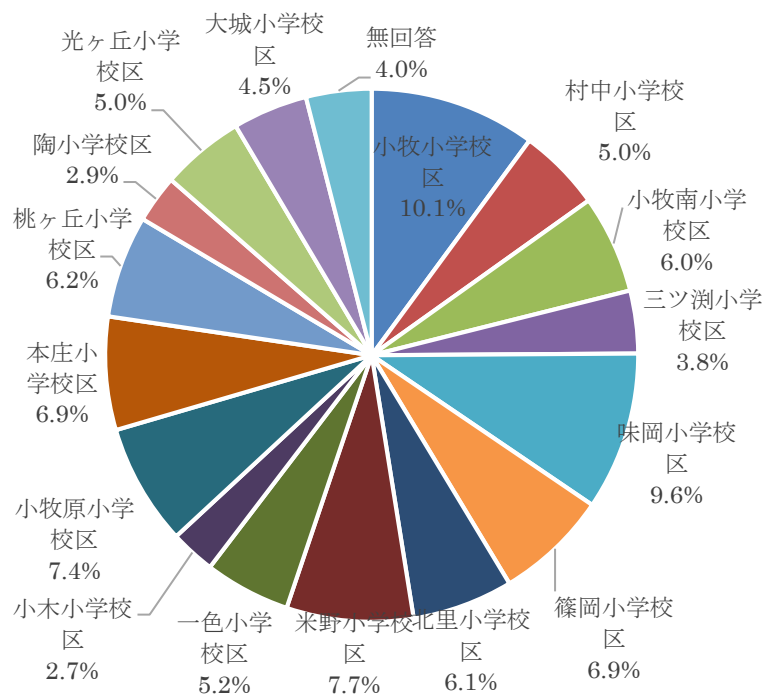
問 14 あなたのご年齢をお聞かせください。

29歳以下	71	5.9%
30歳代	118	9.8%
40歳代	217	17.9%
50歳代	220	18.2%
60歳代	250	20.7%
70歳代	239	19.8%
80歳以上	62	5.1%
無回答	32	2.6%
合計	1,209	100.0%



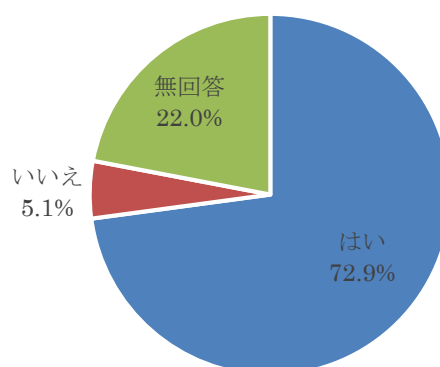
問 15 あなたのお住まいはどちらですか。

小牧小学校区	122	10.1%
村中小学校区	61	5.0%
小牧南小学校区	72	6.0%
三ツ淵小学校区	46	3.8%
味岡小学校区	116	9.6%
篠岡小学校区	83	6.9%
北里小学校区	74	6.1%
米野小学校区	93	7.7%
一色小学校区	63	5.2%
小木小学校区	33	2.7%
小牧原小学校区	89	7.4%
本庄小学校区	83	6.9%
桃ヶ丘小学校区	75	6.2%
陶小学校区	35	2.9%
光ヶ丘小学校区	61	5.0%
大城小学校区	55	4.5%
無回答	48	4.0%
合計	1,209	100.0%



問 16 あなたは、モバイル端末（スマートフォン、携帯電話等）を持っていますか。

はい	881	72.9%
いいえ	62	5.1%
無回答	266	22.0%
合計	1,209	100.0%



各事業についての自由意見（抜粋）

（こまきプレミアム商品券）

- ・次回もプレミアム率 30%にして下さい。
- ・商品券の購入方法が手間です。郵送で購入予定を送って、引換えする等もう少しやりやすくしてほしいです。
- ・予約が電話でとれないのは不便。
- ・プレミアム券を発行して頂き感謝です。今後も是非続けてください。
- ・青色と赤色の使い分けが難儀そうでした。
- ・い〜なも券とえ〜なも券をなくして共通にしてもらえたら使いやすくて良いと思います。どのお店で使えるのか分かりづらい。
- ・地域振興券は地元に着した事業で地元の経済活性化に役立つことと思います。また是非利用したいと思います。
- ・年寄なのでカードなど持っていません。簡単でいい今までのままがいいです。
- ・こまきプレミアム券ですが、大型店も両方の券が使えるといいです。
- ・大型スーパー等で使用する券はすぐなくなるが、小規模店で使用できる券はいつも期限ぎりぎりであわてて使用するくらい残ることが多い。使える店を増やすか、買物でたくさん消化できるようにしてほしい。
- ・利用期間を延ばしてほしい。
- ・使える店ののぼり、ポスターはよく見かけるは、いつどこで売っているかは分からない。ポスター掲示、ツイッター等でも広くお願いしたい。
- ・カードなど 1 枚も持っていないので、今までどおりえ〜なも券い〜なも券がいいです。
- ・プレミアム商品券の購入も不便。使い方も不便。
- ・商品券は 2 種類に分けず、統一してほしい。
- ・今後も紙で発行するのであればかさばらないように厚さの工夫を望む。
- ・商品券タイプだとお釣りが出ない、数え間違いの恐れ等があるので、プリペイド形式だとありがたいです。アプリだと年配の方が使いづらいと思われます。
- ・初めてでしたが、商品券有効に使わせていただきました。助かりました。
- ・プレミアム商品券の購入の仕方を予約なしですぐに買えた方が良い。

（こまき応援食事券）

- ・食事券は半額で食事に利用できてよかったが、単位が 500 円なので使いにくかった。300 円くらいかプリペイドカード形式が良いと思った。
- ・普段外食はほとんどしません、この券のおかげでおいしいお店に行けて、とてもよかったです。家族も喜んでいました。
- ・応援食事券を抽選ではなく、希望者全員が購入できればいいと思いました。
- ・食事券の世帯間調整がおかしい。
- ・こまき応援食事券を時々行って、小牧市のいろいろな商店がもっと発展するようにしていただきたい。
- ・こまき応援食事券の期限が緊急事態宣言期間中にもかかわらず 5 月末となり延期されなかったことが残念です。
- ・食事券はすごくお得感がありました。当たる人と当たらない人がいるので、みんなに平等に行き渡ればいいのになと思います。
- ・購入時長時間並びました。もっとスムーズに購入できるようにしてください。

- ・こまき応援食事券は普段利用しないお店を知ることができ、とてもよかったと思います。こまきプレミアム商品券と同様に続けていただけると幸いです。
- ・現在のようにコロナ禍では食事券利用したくても、実際には利用できないのが現状です。
- ・今回の食事券の購入がきっかけで気になっていたお店に何力所か行くことができうれしく思います。
- ・こまき応援食事券、子どもたちの気分転換になりました。どこの店で何を頼むか HP を見ながら楽しそうに相談していました。ありがとうございました。
- ・食事券の期間を長くしてもらえると使いやすいのではないのでしょうか。

(キャッシュレス決済ポイント付与キャンペーン)

- ・QR コード決済に d 払いが利用できたらよかったです。
- ・PayPay や auPAY 以外にも楽天ペイも利用できればありがたい。
- ・もう少し使い方をわかりやすくしてほしい。
- ・スマホの使い方を詳しく教えてほしい。
- ・ペイペイ 10%付与を今後続けて欲しい。商品券は現金支払じゃないので使いづらい。
- ・PayPay も商品券もすごくよかったです。普段から使っている場所でも使えて、とてもお得でした。
- ・キャッシュレスポイントはペイペイ以外でもお願いします。
- ・PayPay が使えることを知らなかったのもっと広告をしてほしいです。
- ・キャッシュレス決済ポイントですが、年配には不向きです。携帯では見にくい。

(その他)

- ・商品券、食事券とも使える場所がまだまだ少ない。さらに開拓して下さい。
- ・商品券、食事券のおかげで知らないお店にも行けました。地元のお店を知ることができて良かったです。
- ・住んでいる地域が小牧市のはずれであり、商品券等使用できる箇所が限られてしまいます。小牧市以外でも使えるとありがたいです。
- ・LINE での情報発信がとても便利でありがたいです。
- ・プレミアム商品券、こまき応援食事券等は毎年販売してもらえると助かります。ペイペイ等は使用できる人が限られているので、他の方法を探してほしい。
- ・両方とも完売で希望額購入できなくて、とても残念だったので、もっともっと販売してもらいたいです。
- ・プレミアム商品券等とってもありがたいですが、もっと多くの店で使えるといいと思います。
- ・プレミアム商品券や食事券を購入するのに、9 時～17 時まで仕事をしているので、購入するのに苦労します。平日 18 時くらいまで時間をとってほしい。
- ・電子決済は便利だと思いますが、苦手な人も一定数いると思います。そういう人の手段も残しておいていただけるとありがたいです。
- ・希望者全員に購入できるようにしてほしい。
- ・希望した金額より少なくされたので、希望額購入したいです。
- ・スマートフォンの決済は使い方がわからない。カード型、クレジットカード等が使いやすい。

3. 総括

今回の市民アンケートの結果からうかがえる市民の商品券事業に対する認識やその課題につきましては、プレミアム商品券を「知っている」と回答された方が87.3%と昨年度の86.0%から1.3%増加しました。また、若年層の商品券の認知度が年齢層のなかで低い一方で、29歳以下では76.1%（H31:68.4%）、30歳代では80.5%（H31:77.7%）と昨年度よりも認知度が上昇しました。今後も年齢層に応じた周知活動を行っていく必要があることが分かりました。

商品券の購入状況については63.4%と昨年度48.8%から14.6%増加しました。新型コロナウイルス感染症による経済対策事業の一つとして、他事業と併せて長期間にわたり事業の周知を図ったことに加え、全国でも商品券事業に対する注目度が高く各自治体の取組みが活発化し、例年よりプレミアム率、発行額を引き上げて実施したことが要因の一つとして挙げられ、新規購入者の拡大につながったと考えられます。

また、次回の商品券購入については平成31年度の調査では38.8%の方が「購入したい」と回答されたのに対して、今回の調査では65.6%と増加しました。プレミアム率が高かったこともあり、興味をひきつけるものになったと思われます。今後もより多くの方に購入していただける商品券を目指して、次の課題について対応を検討する必要があります。

1点目として、商品券及び食事券を購入しなかった方の割合が26.0%と知っている人の約4分の1を占めている点です。その理由としては「使いづらいと思ったから」「購入手続きが面倒だから」のほか、「新型コロナにより外出・外食を控えている」など緊急事態宣言等の発令に伴う飲食店等に対する時短・休業要請や外出自粛の影響から、あえて商品券・食事券の購入を控えている人が一定数いることも窺えました。これらのことから、消費需要を捉えた利用期間の設定、幅広い業種の店舗の参加や各地区における加盟店の増加、予約・購入手続きの簡素化など魅力ある商品券になるよう購入者の利便性を高める工夫をする必要があります。

2点目として、今後の商品券の形態について年代別によって各項目の割合に大きな差がある点です。29歳以下～30歳代では、商品券の形態として「紙（現状のまま）」よりも「スマートフォンアプリ等」が占める割合が高くなっているが、60歳代～80歳以上では過半数以上が「紙（現状のまま）」を選択しており、「スマートフォンアプリ等」は約1割未満となっています。スマートフォン普及率の高い若年層の間ではキャッシュレス決済が身近になり、紙から電子へ決済手段が変化していると考えられます。一方、「紙（現状のまま）」を希望する割合も全体の過半数を占めているため、購入者の年代に応じた商品券の形態を今後検討していく必要があります。

さらに、令和2年に実施したキャッシュレス決済ポイント付与キャンペーンについて、「利用した」と回答した方の割合は1割弱であり、QRコード決済に馴染みがない人が一定数いると思われます。一方で、別の設問において普段の買物でQRコード決済を利用していると回答した方が31.8%いることから、キャンペーンの周知方法や対象店舗を拡大することで、利用者の拡大につながると考えられます。

これらのことから、「こまきプレミアム商品券事業」については、世代や地区など対象とする市民に応じた幅広い方法により、わかりやすい内容でPRを行うとともに、市内のキャッシュレス決済の利用状況を鑑みながら商品券の形態についても検討しつつ、引続き小牧商工会議所と連携し、商品券販売の方法・体制の改善と強化、新規加盟店の増加に努め、さらに各加盟店における商品券活用などの取組みにより、商品券事業の魅力をさらに高めてまいりたいと考えております。